

宮澤やすみ プロフィール

三味線、歌、神仏研究家

<https://www.youtube.com/c/YasumiMiyazawa>

●小唄、三味線

幼少より日本文化と音楽に親しみ、2003 年小唄扇派に入門。2008 年師範取得。神楽坂にて小唄を指導しながら、各地で演奏活動。小唄の演奏会を複数主催。気軽なカフェライブ「小唄かふえ」など、気軽に小唄を楽しめる場を設けている。毎年 10 月末の「小唄 in 神楽坂」は 17 周年を迎えた（2020 年現在）。歌と三味線でコンテンポラリーダンス、ジャズ、シャンソンなど多彩なアーティストと共演。



●“歌う神仏研究家”

“歌う神仏研究家”として、「ご開帳ブルース」などオリジナル仏像ソングを歌う。アルバム『Ash-La La La』、『末法思想』、『欣喜雀躍』。

NHK 総合「ひるまえほっと」、TBS「マツコの知らない世界」などテレビ・ラジオ出演や講演多数。早稲田大学エクステンションセンター講師。仏像関連の著書多数。

●活動写真楽士

2010 年から無声映画（活動写真）の伴奏楽士を務める。活動弁士と楽士の楽団「映楽四重奏」メンバーとして、ドイツ、イタリア、オランダ、ベルギー公演、国内では歌舞伎座公演を果たした。現代映画にも楽曲提供。



宮澤やすみ一門で小唄演奏会
（神楽坂まち飛びフェスタ）にて



エレキ三味線を駆使したバンド “The Buttz(ザ・ブッツ)”
作詞作曲、歌と三味線



水谷千重子(友近)キーボンシャイニング歌謡祭
三味線奏者として出演



活動写真楽団“映楽四重奏”歌舞伎座公演
（東京国際映画祭スペシャルプログラムにて）©TIFF 2016



テレビ収録にて、中村芝翫さん、マツコ・デラックスさん、相武紗季さんと